



**TOEI ANIMATION**  
Since 1956

# 第66期 事業報告書

[平成15年4月1日～平成16年3月31日]

東映アニメーション株式会社



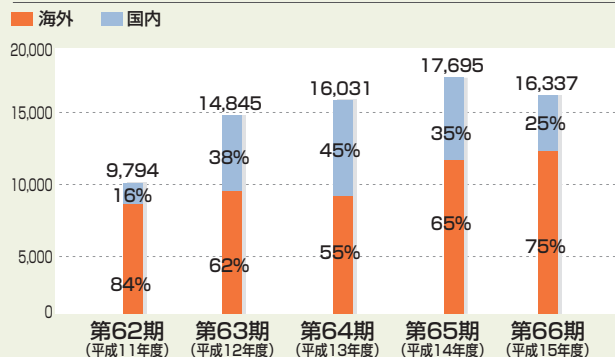
## 財務ハイライト

## 業績の推移

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期純利益 (円)	1株当たり配当金 (円)	資本金 (百万円)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	1株当たり純資産 (円)
第64期 H.13.4.1~H.14.3.31	16,031	3,846	1,902	271.75	15.00	2,867	19,437	14,996	2,142.39
第65期 H.14.4.1~H.15.3.31	17,695	4,520	2,132	298.90	30.00	2,867	21,919	16,460	2,345.85
第66期(当期) H.15.4.1~H.16.3.31	16,337	3,217	2,105	295.08	30.00	2,867	23,402	19,224	2,740.69

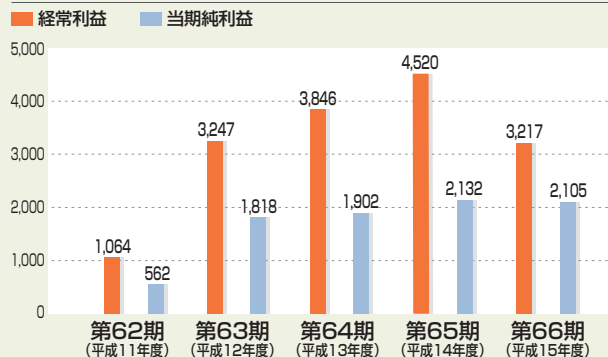
## 売上高の推移

(単位:百万円)



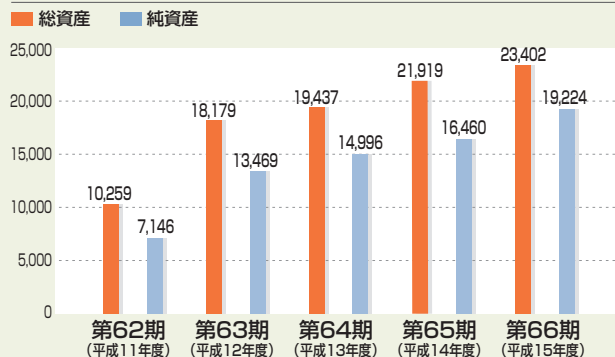
## 経常利益・当期純利益の推移

(単位:百万円)



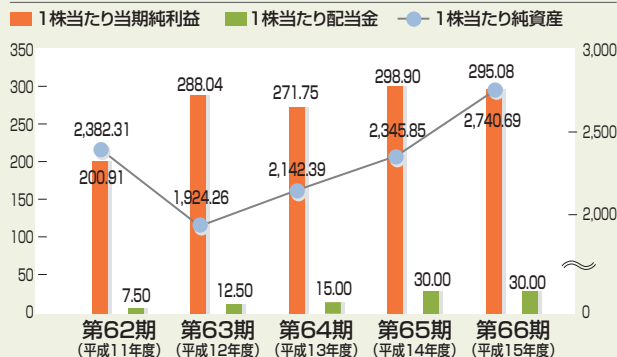
## 総資産・純資産の推移

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益・配当金・純資産の推移

(単位:円)



## 株主の皆様へ



代表取締役社長

TAKAHASHI HIROSHI

高橋 浩

代表取締役会長

TOMARI TSUTOMU

泊 懋

## 真のグローバルアニメーションカンパニーを目指して

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当社の経営理念は

1. 世界の子どもと人々に「夢」と「希望」を与える"創発企業"となることを、目指す。
  2. 21世紀映像世界の主軸としてのアニメーション業界No.1となることを、目指す。
  3. デジタル画像表現のデファクト・スタンダードの位置づけとなることを、目指す。
- であります。

この経営理念を実現するための当社の経営の基本方針は「より良い企画を立案し、より良い作品に仕上げて、より多くの顧客を引き出し、より多くのビジネスチャンスを生み出していく」ことであります。

そこで当社では「より良い企画を立案し、より良い作品に仕上げる」ために、作品の企画立案から作画、彩色、撮影、録音、編集といった、アニメーション製作の全工程をグループ内に擁しており、また作品製作の要となる優れた人材を確保・育成しています。さらに、最良の作品を製作できる環境を構築するために、製作工程のフルデジタル化の実現や、高速ネットワークの完備など、最新のデジタル技術を他社に先駆けて積極的に導入しています。

また、「より多くの顧客を引き出し、より多くのビジネスチャンスを生み出していく」ために、著作権やDVD、ブロードバンド、イベントなどの各種事業を当社自ら展開し、作品のポテンシャルを最大限にまで高めています。さらに、設立当初から海外市場を視野に入れている当社は、グローバルな視点で作品を企画し、世界各国で事業を展開しています。

これからも当社は、経験と実績をもとに、国際的に通用する高品質のコンテンツを作り続ける力と、蓄積されたコンテンツを活用したビジネス展開力をさらに強化し、真のグローバルアニメーションカンパニーを目指します。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

## 当期の概況

当期におけるわが国経済は、設備投資と輸出に支えられ、着実な回復を続けました。

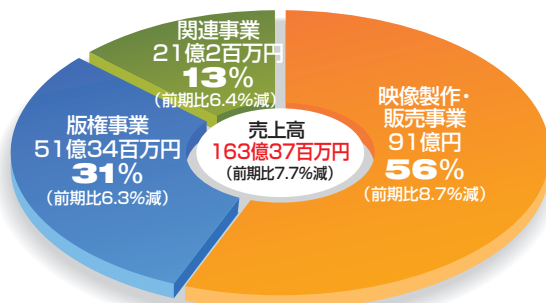
当社を取り巻く事業環境におきましては、DVDなどのデジタルメディアの興隆によりビジネスチャンスは拡大するものの、国内外で受注競争激化などの影響を受け、厳しい状況が続きました。

こうしたなか、当社は国内で「ワンピース」、「ドラゴンボール」、「金色のガッシュベル!!」、

海外で「ドラゴンボール」、「デジモンアドベンチャー」を主とした映像販売、キャラクターのライセンス許諾などに加え、DVDなどへも戦略的に事業を展開しました。

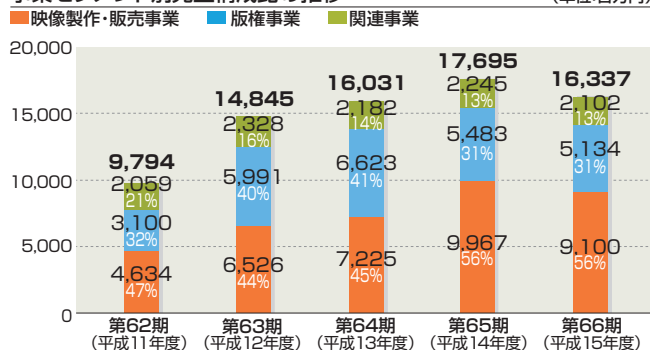
この結果、当期の売上高は163億37百万円（前期比7.7%減）、経常利益は32億17百万円（前期比28.8%減）、当期純利益は21億5百万円（前期比1.3%減）となりました。

第66期 事業セグメント別売上構成比



事業セグメント別売上構成比の推移

(単位:百万円)



## 映像製作・販売事業

アニメーションを製作し、国内外のTV・劇場・

劇場アニメ部門では、前期同様に年2回劇場作品を公開しましたが、前期の8月公開作品に比べ、当期の2月公開作品の公開館数が少なかつたため減収となりました。

テレビアニメ部門では、製作本数が前期に比べ少なかったため、若干の減収となりました。

海外部門では「デジモンアドベンチャー」、「ドラゴンボール」の売上が減少し、大幅な減収と



「ワンピース  
デッドエンドの冒険」  
平成15年3月全国東映系公開



「聖闘士星矢 天界編  
序奏-overture-」  
平成16年2月全国東映系公開



「ふたりはプリキュア」  
(日) 朝8:30-9:00  
ABC・テレビ朝日系列



「金色のガッシュベル!!」  
(日) 朝9:00-9:30  
フジテレビ系列



「デジモンフロンティア」  
北米  
ABC Family



「ドラゴンボールGT」  
北米  
CARTOON NETWORK

# 業

## ビデオ・DVD等で放映・公開・販売

なりました。

パッケージソフト部門では「スラムダンク」、「ドラゴンボールZ」などのDVDのBOXに加え、「北斗の拳」のレンタルとバラ売りが好調に推移し、大幅に増収となりました。

以上により、当事業の売上高は91億円（前期比8.7%減）となりました。



「スラムダンク」DVD-BOX  
平成15年7月発売  
19,000セット



「ドラゴンボールZ」DVD-BOX②  
平成15年9月発売  
31,500セット



「北斗の拳」DVD（全26巻）  
レンタル 平均3,500本  
バラ売り 平均10,000本

※DVDのセット数は  
当会計年度内の販売実績です。

Review of Operation

## 著作権事業

キャラクターの使用許諾を、国内外のライセンシー（メーカー等）に与え、キャラクター商品（玩具・衣類・文具・食品等）を展開

国内では「ワンピース」は減少しましたが、「ドラゴンボール」が大幅に増加し、また「金色のガッシュベル!!」も好調に稼働したことにより、国内全体では増収となりました。海外では「ドラゴンボール」は増収となりましたが、「デジモンアドベンチャー」が大幅に減収となり、海外全体では大幅な減収となりました。

以上により、当事業の売上高は51億34百万円（前期比6.3%減）となりました。



「国内商品（ワンピース）」



「国内商品（金色のガッシュベル!!）」



「海外商品（ドラゴンボール）」



「海外商品（デジモンアドベンチャー）」

Review of Operation

## 関連事業

キャラクター商品の販売、キャラクターショー等のイベントの企画・運営、クリエイター養成機関「アニメーション研究所」の運営

商品販売部門では、「ワンピースショップ」が好調に推移しましたが、全体としてはほぼ横ばいでした。また、イベント部門では国内経済の低迷等の影響により、教育部門では「東映アニメーション研究所」の生徒の少数精鋭化を図ったことにより、ともに減収となりました。

以上により、当事業の売上高は21億2百万円（前期比6.4%減）となりました。



「ワンピースショップ」



「明日のナージャイベント」



「東映アニメーション研究所」



# デジタル時代の重点施策 [ABCDE計画]

## ～真のグローバル・アニメーション・カンパニーへ～

現在、アニメーション業界においては、地上波デジタル放送が平成15年12月から開始になるなど、本格的なデジタル時代が到来しています。テレビ放送におけるアニメーション放送枠は増加し、DVDやブロードバンドなどの市場も拡大を続けるなど、産業としての注目度はますます高まっています。

海外では、デジタル時代の到来をうけて多チャンネル化が進展。日本のアニメーションに対する需要の高まりとともに、その評価も非常に高まっています。このように市場が成長・拡大するなかで激化する競争を、当社は独自の強みを活かした戦略を遂行し、デジタル時代の「真のグローバル・アニメーション・カンパニー」を目指します。

### 東映アニメーションの強み

- 子どもから大人、アクションから恋愛まで、幅広い企画・製作力
- 長い歴史で培った日本最大かつ世界でも有数の映像資産
- フルデジタル製作システムを他社に先駆けて実用化した優位性
- 企画・製作から販売まで行える一貫体制によるビジネス展開力



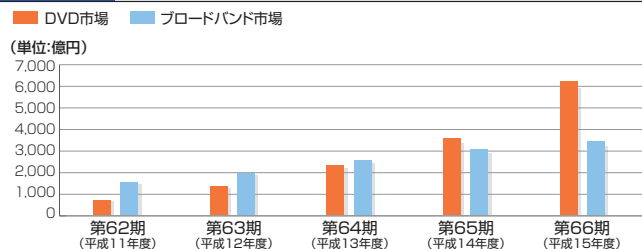
デジタル時代の  
急進により  
ビジネスチャンスが増大

### ABCDE計画

- A America**  
アメリカ市場の深耕
- B Broadband**  
ブロードバンドビジネスの強化
- C CG**  
CGIによる表現技法の拡大
- D DVD**  
DVD収益を基盤としたコンテンツ戦略
- E E-commerce**  
オンライン販売専門商品の開発

世界で通用する  
真のグローバル・  
アニメーション・  
カンパニーへ

### 市場動向 グラフに見るデジタルメディア関連市場の成長



出典：(社)日本映像ソフト協会会報、総務省「情報通信政策セッション」報告書



America

# アメリカ市場の深耕

## 現地法人を設立し 直接ビジネスによる展開力を強化します

アメリカは海外のなかでも、日本のアニメーション業界にとって最も重要な市場であり、多くの日本の作品が放送され、厳しい競争が行われています。当社はこれまで以上に、よりきめ細かく、かつ広範囲で効果的な事業展開を直接行うべく、平成16年3月に現地法人「TOEI ANIMATION INCORPORATED」を設立しました。

### 北米市場

- 多チャンネル
- 多メディア
- デジタル編集

日本製アニメーションの躍進

### 現地法人を設立



**TOEI ANIMATION  
INCORPORATED**

(平成16年3月設立)

### 間接ビジネスから 直接ビジネスへ

- 現地のTV局やメーカーとの効果的・継続的なビジネス展開
- 市場動向を高精度かつ迅速に把握
- 合作・提携による海外オリジナル作品の製作



TOEI ANIMATION

## 北米での主力作品

### 現在



「DRAGONBALL GT」  
CARTOON NETWORK



「DIGIMON: DIGITAL MONSTERS」  
ABC Family



「ULTIMATE MUSTLE」  
FOX

平成16年度中に  
新作を投入予定

## B

Broadband

## ブロードバンドビジネスの強化

## サービスの強化・拡充

デジタル市場のなかでもDVDに続いて大きな成長が見込めるブロードバンド市場においては、平成16年3月に映像配信サービス「東映アニメBB」をリニューアルするなど、サービスの強化・拡充に取り組んでいます。

## エンタテインメントコンテンツ



「あそんでどれみ」



「おジャ魔女シアター」

## 映像配信サービス



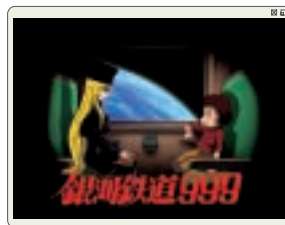
「東映アニメBB」



「東映特撮アニメアーカイブス」

## ブロードバンドを起点としたコンテンツ展開

平成14年にブロードバンド用に製作したFLASHアニメーション「銀河鉄道999」を平成15年にはDVDで発売。ブロードバンドからスタートするコンテンツ展開の第1弾として成功を収めました。今後も新作を投入していきます。



FLASHアニメーション  
「銀河鉄道999」  
平成14年9月サービス開始(全6話)



DVD化  
平成15年11月発売(全2巻)  
各4,800円

## C

CG

## CGによる表現技法の拡大

## アニメーション製作会社ならではのCG映像を製作

近年フルCGで製作された劇場作品が大ヒットを記録しています。当社は、これまで主に2Dアニメーション作品にCG映像を取り入れる作品を多く手がけてきましたが、今後は実写とCGの融合や、フルCG作品の製作にも意欲的に取り組んでいきます。





# D DVD 収益を基盤としたコンテンツ戦略

## DVDを主メディアとした新レーベルを立ち上げ

DVD市場の拡大により、DVDの収益を主としたコンテンツ展開が可能になりました。そこで平成16年、当社では初となるDVDオリジナルレーベル「アニマイスター」と「GA.ニメ」を新たに立ち上げました。

### アニマイスター



アニマイスター第1弾  
「インターラード」(全3巻)  
第1巻 平成16年3月発売

### GA.ニメ



GA.ニメ第1弾  
「～この支配からの卒業～尾崎 豊」  
平成16年4月発売

## ボックス売り・レンタル・バラ売りなど多彩な販売戦略

昨年に引き続き好調なライブラリーDVDビジネス。平成16年もコレクション要素の強いDVD-BOX展開に加え、一般層向けにレンタル・バラ売りなど多彩な販売戦略を展開していきます。



「ドラゴンボール」DVD-BOX  
平成16年7月発売



「銀河鉄道999」DVD レンタル  
1～13巻レンタル中  
全19巻随時レンタル開始



「キューティーハニー」DVD バラ売り  
平成16年4月発売 (全3巻)

### 平成16年度上期 主な発売予定DVDタイトル

- 4月「デビルマン」バラ売り①
- 5月「グレンダイザー」BOX②
- 6月「GU-GUガンモ」BOX①
- 7月「デジモンアドベンチャー」BOX  
「キャプテンハーロック」BOX  
「マジンガーZ」バラ売り①
- 8月「聖闘士星矢 THE MOVIE」BOX

# E E-commerce オンライン販売専用商品の開発

## キャラクター商品の開発力を活かして、オンライン販売専用商品などを開発

飛躍的に拡大しているe-コマース市場に向けて、キャラクター商品開発のノウハウを活かしたオンライン販売専用の高付加価値商品を開発。新たな販売チャネルを確立し、ビジネスの拡大を目指します。

キャラクター商品開発力

Webサイト開発・運営ノウハウ

オンライン  
販売専用商品  
などの開発



キャプテンハーロック仕様の  
HDD&DVDビデオレコーダー  
平成15年12月発売

## → 連結財務諸表

### 連結貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>16,221,439</b>
現金及び預金	12,420,826
受取手形及び売掛金	2,756,303
たな卸資産	731,185
繰延税金資産	141,482
その他	189,217
貸倒引当金	△17,574
<b>固定資産</b>	<b>9,697,505</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,229,939</b>
建物及び構築物	970,209
機械装置及び運搬具	15,070
土地	2,153,114
その他	91,544
<b>無形固定資産</b>	<b>106,843</b>
ソフトウェア	105,699
電話施設利用権	1,143
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,360,722</b>
投資有価証券	5,529,754
長期貸付金	280,726
その他	605,261
貸倒引当金	△55,020
<b>資産合計</b>	<b>25,918,945</b>

負債の部	
科 目	金 額
<b>流動負債</b>	<b>3,723,621</b>
支払手形及び買掛金	2,349,664
未払法人税等	268,970
賞与引当金	234,087
その他	870,899
<b>固定負債</b>	<b>916,199</b>
退職給付引当金	642,553
役員退職慰労引当金	157,700
その他	115,945
<b>負債合計</b>	<b>4,639,821</b>
<b>少数株主持分</b>	
<b>少数株主持分</b>	<b>213,388</b>
<b>資本の部</b>	
<b>資本金</b>	<b>2,867,575</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>3,409,575</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>14,105,399</b>
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>777,740</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>△91,382</b>
<b>自己株式</b>	<b>△3,171</b>
<b>資本合計</b>	<b>21,065,735</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>25,918,945</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# Financial Data

## 連結損益計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
売上高	17,120,156
売上原価	11,097,386
売上総利益	6,022,770
販売費及び一般管理費	2,567,459
営業利益	3,455,310
営業外収益	229,042
受取利息	11,060
受取配当金	29,075
持分法による投資利益	116,898
貸倒引当金戻入益	55,188
その他	16,819
営業外費用	95,631
支払利息	764
為替差損	89,090
その他	5,776
経常利益	3,588,720
特別損失	10,020
ゴルフ会員権評価損	3,600
貸倒引当金繰入額	6,420
税金等調整前当期純利益	3,578,700
法人税、住民税及び事業税	1,106,298
法人税等調整額	83,435
少数株主利益	51,978
当期純利益	2,336,988

## 連結剰余金計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	3,409,575
資本剰余金期末残高	3,409,575
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	12,026,910
利益剰余金増加高	2,336,988
当期純利益	2,336,988
利益剰余金減少高	258,500
配当金	210,000
役員賞与	48,500
(うち監査役賞与)	(2,600)
利益剰余金期末残高	14,105,399

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,339,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	△746,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79,240
現金及び現金同等物の増加額	2,303,559
現金及び現金同等物の期首残高	10,117,267
現金及び現金同等物の期末残高	12,420,826

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## → 単体財務諸表

### 貸借対照表 (平成16年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>15,032,055</b>
現金・預金	11,272,980
受取手形	47,503
売掛金	2,713,437
商品	36,624
製作品	201,000
仕掛品	403,276
貯蔵物品	53,147
前払費用	44,141
短期貸付金	64,477
繰延税金資産	128,332
その他の流動資産	69,757
貸倒引当金	△2,624
<b>固定資産</b>	<b>8,370,215</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,008,606</b>
建物	753,895
構築物	8,550
機械装置	6,688
工具器具備品	86,357
土地	2,153,114
<b>無形固定資産</b>	<b>106,843</b>
ソフトウェア	105,699
電話施設利用権	1,143
<b>投資その他の資産</b>	<b>5,254,765</b>
投資有価証券	4,098,594
子会社株式	193,957
長期貸付金	390,625
差入保証金	84,750
繰延税金資産	32,594
その他の投資	507,463
貸倒引当金	△53,220
<b>資産合計</b>	<b>23,402,271</b>

負債の部	
科 目	金 額
<b>流動負債</b>	<b>3,385,459</b>
支払手形	291,683
買掛金	1,987,348
未払金	127,036
未払法人税等	241,134
前受金	296,926
預り金	177,755
賞与引当金	217,688
その他の流動負債	45,887
<b>固定負債</b>	<b>791,949</b>
退職給付引当金	611,227
役員退職慰労引当金	157,700
その他の固定負債	23,022
<b>負債合計</b>	<b>4,177,409</b>
資本の部	
<b>資本金</b>	<b>2,867,575</b>
資本金	2,867,575
<b>資本剰余金</b>	<b>3,409,575</b>
資本準備金	3,409,575
<b>利益剰余金</b>	<b>12,319,399</b>
利益準備金	94,500
任意積立金	2,600,000
別途積立金	2,600,000
当期末処分利益	9,624,899
<b>株式等評価差額金</b>	<b>628,312</b>
<b>資本合計</b>	<b>19,224,862</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>23,402,271</b>

- (注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 子会社に対する短期金銭債権 241,336千円  
子会社に対する長期金銭債権 109,899千円  
子会社に対する短期金銭債務 77,540千円
3. 有形固定資産の減価償却累計額 603,588千円
4. 重要なリース資産  
貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、アニメ製作用コンピューター機器、事務用コンピューター機器ならびにその周辺機器があります。
5. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は628,312千円であります。

## 損益計算書 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	金 額
<b>経常損益の部</b>	
<b>営業損益の部</b>	
<b>営業収益</b>	<b>16,337,931</b>
売上高	16,337,931
<b>営業費用</b>	<b>13,118,150</b>
売上原価	10,992,540
販売費及び一般管理費	2,125,609
<b>営業利益</b>	<b>3,219,781</b>
<b>営業外損益の部</b>	
<b>営業外収益</b>	<b>79,172</b>
受取利息及び配当金	38,599
雑収入	40,573
<b>営業外費用</b>	<b>80,977</b>
支払利息	109
雑支出	80,867
<b>経常利益</b>	<b>3,217,977</b>
<b>特別損益の部</b>	
<b>特別損失</b>	<b>8,220</b>
ゴルフ会員権評価損	3,600
貸倒引当金繰入額	4,620
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,209,757</b>
法人税、住民税及び事業税	1,047,178
法人税等調整額	56,996
<b>当期純利益</b>	<b>2,105,581</b>
前期繰越利益	7,519,318
<b>当期末処分利益</b>	<b>9,624,899</b>

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 子会社との取引高

売 上 高	440,899千円
仕 入 高	635,722千円
営業取引以外の取引高	3,453千円

3. 1株当たり当期純利益 295円8銭

## 利益処分 (単位:円)

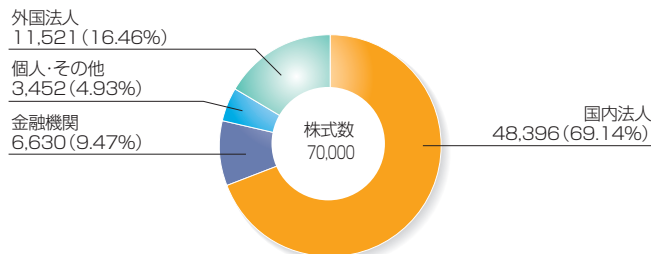
科 目	金 額
<b>I 当期末処分利益</b>	<b>9,624,899,770</b>
これを次の通り処分いたします。	
<b>II 利益処分量</b>	
利益配当金	210,000,000
1株につき30円	
役員賞与金	40,000,000
(うち監査役賞与金)	(2,600,000)
任意積立金積立額	
別途積立金	300,000,000
<b>合計</b>	<b>550,000,000</b>
<b>III 次期繰越利益</b>	<b>9,074,899,770</b>



## 株式の状況 (平成16年3月31日現在)

発行済株式総数	7,000,000株
株主数	877名

## 所有者別状況 (百株) (平成16年3月31日現在)



## 株価・出来高の推移



**著作権表示** ©澤井哲夫／集英社・テレビ朝日・電通・東映アニメーション ©ABC・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©雷句誠／小学館・フジテレビ・東映アニメーション ©車田正美／集英社・東映アニメーション ©本郷あきよし・東映アニメーション ©バードスタジオ／集英社・東映アニメーション ©井上雄彦／アイティープランニング・東映アニメーション ©武論尊・原哲夫／Coamix・東映アニメーション ©ABC・東映アニメーション ©ゆでたまご／集英社・東映アニメーション・テレビ東京 ©ABC・東映アニメーション ©松本零士・東映アニメーション ©本郷あきよし・デジモンCGプロジェクト ©2004「デビルマン」製作委員会 ©ロングショット／NECインターチャネル／東映アニメーション／ハピネット・ピクチャーズ ©東映アニメーション ©ダイナミック企画・東映アニメーション ©松本零士・東映アニメーション ©東映アニメーション ©雷句誠／劇場版「金色のガッシュベル!!」製作委員会 ©VisualArt's／Key／東映アニメーション／フロンティアワークス

## 株式事務のご案内

商	号	東映アニメーション株式会社
証 券 コ ー ド	4816	
決 算 期	毎年3月31日	
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催いたします。	
基 準 日	毎年3月31日	その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
利 益 配 当 金	毎年3月31日現在の株主または登録質権者にお支払いたします。	
名 義 書 換 代 理 人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	
同 事 務 取 扱 所 (お問い合わせ郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 東京(03)3323-7111(代表) 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店	
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。	
貸借対照表および 損益計算書掲載の ホームページアドレス	<a href="http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir_top.html">http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir_top.html</a>	

### お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

### 株主優待制度

当社では、株主優待オリジナルのキャラクターQUOカードを進呈しております。

所有株式数	優待内容
100株以上……………	2,000円相当のキャラクターQUOカード
1,000株以上……………	6,000円相当のキャラクターQUOカード
5,000株以上……………	10,000円相当のキャラクターQUOカード
10,000株以上……………	20,000円相当のキャラクターQUOカード



# MOVIE LINE UP

東映アニメーション株式会社 劇場公開予定作品



「金色のガッシュベル!! 101番目の魔物」

平成16年8月7日公開



「デビルマン」

平成16年秋公開



「AIR」

平成16年公開



「DIGITAL MONSTER X-evolution」(仮)

平成17年公開